

# 6月6日 朝の勉強会 G先生

## テーマ「悪寒 戦慄」

【症例】：80歳代 女性

【主訴】：発熱、嘔気

【現病歴】：当日の11:00ころに悪寒・戦慄あり。嘔気もあった。その後発熱に気づき診療所を受診。救急車で当院に搬送。

血圧118/95mmHg、脈拍110回/分、体温39.1℃、SpO293%(room air)

診断：敗血症

血液検査 炎症反応上昇のみ

尿 clear

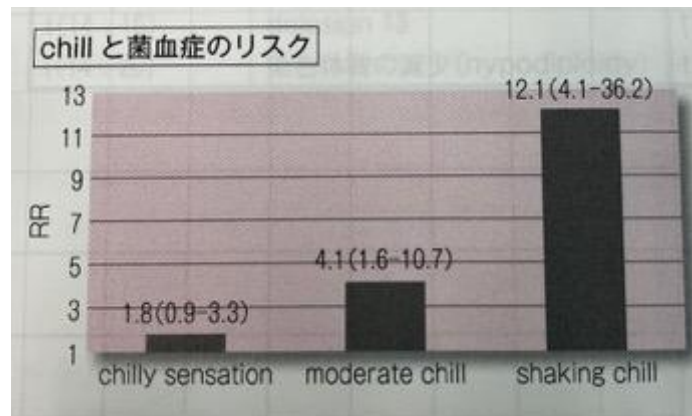
胸腹部CT:感染源となる所見なし

診断：胆管炎による敗血症

後日エコー 胆管内デブリ

血液培養 大腸菌

資料



段階が上がるごとに菌血症のリスクは高まる

Shaking chill では特異度90.3%

Take home message

感染初期には原因臓器が特定できないこともある

悪寒戦慄があると菌血症の可能性が高い

→寒気がある患者では寒気の程度を確認することが重要